

第40回 二十五三昧会

檀信徒以外の方も、曹洞宗以外の方も、初めての方も、お気軽にご参加ください。

川西市の介護と医療の連携について

- ①川西市の新総合事業について
- ②在宅医療の推進に向けた取り組みと今後の方向性
- ③地域包括ケアに向けて

9月25日(日)

どなたでも
参加自由!

①勉強会・本堂 14時～16時 ②交流会 16時～18時

講演：川西市 担当職員

厚生労働省老健局振興課から出ている「介護予防・日常生活支援総合事業の基本的な考え方」の
—地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。(次項略)
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要**—とあります。

この指針に従って川西市でも様々な議論がなされています。

今回は、川西市の健康福祉部福祉推進室福祉政策課及び長寿・介護保険課の担当職員にお願いして、川西市が総合事業をどのように進めていこうとしているのか聴きます。

フリートークの時間もあります。住み慣れた所で暮らし続けるための心がまえと、そのための準備を一緒に考えましょう!

二十五三昧会(にじゅうござんまいえ)とは、お寺が中心となり「メンバーの誰かがヘルプを願い出たら、みんなで出来る範囲のお手伝いをしよう」など、ゆるやかな人的交流の互助的な共同体です。入会費や制限など一切ありません、詳しくはお寺までご連絡を。(平日10時～16時)

会員
募集中

お問い合わせ—観瀧山 岡本寺 (こうほんじ) TEL.072-793-0203